杏林大学 | 文部科学省 地(知)の拠点 | 杏林大学 男女共同参画推進室

第44回杏林医学会総会
市民公開講演会

女性の医学

［座 長］
岩下 光利
杏林大学医学部産科婦人科学　教授

● 特別講演1 「子宮と卵巣のがんから身を守るには ～まずがんのことを知りましょう～」
小林 陽一（杏林大学医学部産科婦人科学　教授）

● 特別講演2 「高齢妊娠に伴う諸問題」
古川 誠志（杏林大学医学部産科婦人科学　准教授）

● 特別講演3 「生殖補助医療の歩みとこれからの課題」
齊藤 英和（国立成育医療研究センター　周産期・母性診療センター　副センター長）

2015年11月21日（土）
13：00～15：00［開場 12:30］

杏林大学三鷹キャンパス　医学部講義棟2階 第一講堂

●主　　催：杏林医学会
●共　　催：杏林大学地（知）の拠点整備事業、杏林大学男女共同参画推進室、三鷹ネットワーク大学
●お問い合わせ：杏林医学会 事務局
Ｔｅｌ　0422-47-5511（内線 3314）
e-mail　med_soc@ks.kyorin-u.ac.jp
ＵＲＬ　http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/user/kyorinms/

当日、託児室を開設いたします。ご希望の方は、（株）アルファコーポレーションまでご連絡ください。
■ WEB 予約　https://goo.gl/Gn0peM　■ 電話予約　0120-086-720（平日 9：30～17：30）

定員
140名
（先着順）

入場無料・参加申込不要
直接会場へお越しください

女性の医学

女性は思春期に始まり、妊娠・出産、閉経と、一生の間に体の仕組みが大きく変わります。結婚や出産年齢の高齢化と年齢による体の変化との関係や、最近増加している子宮がん、卵巣がんの予防や治療について、女性がぜひ知っておいていただきたい内容を演者の先生方にお話しいただきます。女性がいつまでも生き生きと活躍できる社会を実現するとの願いを込めて本講演会を企画いたしました。多数の方のご参加をお待ちしております。

杏林大学医学部産科婦人科学　教授

岩下 光利

小林 陽一

【専門】
婦人科悪性腫瘍、癌幹細胞、子宮内膜症

【経歴】
1986年　慶應義塾大学医学部卒業
1990年　慶應義塾大学医学部産婦人科 助手
1992年　大田原赤十字病院産婦人科 副部長
1995年　聖マリアンナ医科大学産婦人科 助手
1998年　聖マリアンナ医科大学産婦人科 講師
2002年　米国バーナム癌研究所留学
2007年　聖マリアンナ医科大学産婦人科 准教授
2010年 7月　杏林大学医学部産科婦人科 准教授
2014年10月　杏林大学医学部産科婦人科 臨床教授

古川 誠志

【専門】
周産期医学

【経歴】
1992年　宮崎医科大学医学部卒業
1992年　宮崎医科大学医学部附属病院 医員（研修医）（産科婦人科）
1995年　ロチェスター大学 循環器小児科（米国）留学
2002年　宮崎医科大学医学部附属病院 助手（産科婦人科）
2006年　宮崎市郡医師会病院 医長（産婦人科）
2009年　宮崎大学医学部附属病院 特任准教授（総合周産期母子医療センター）
2014年　宮崎大学医学部附属病院 講師（産科婦人科）
2014年　宮崎大学医学部附属病院 准教授（産科婦人科）
2015年 4月　杏林大学医学部産科婦人科 准教授

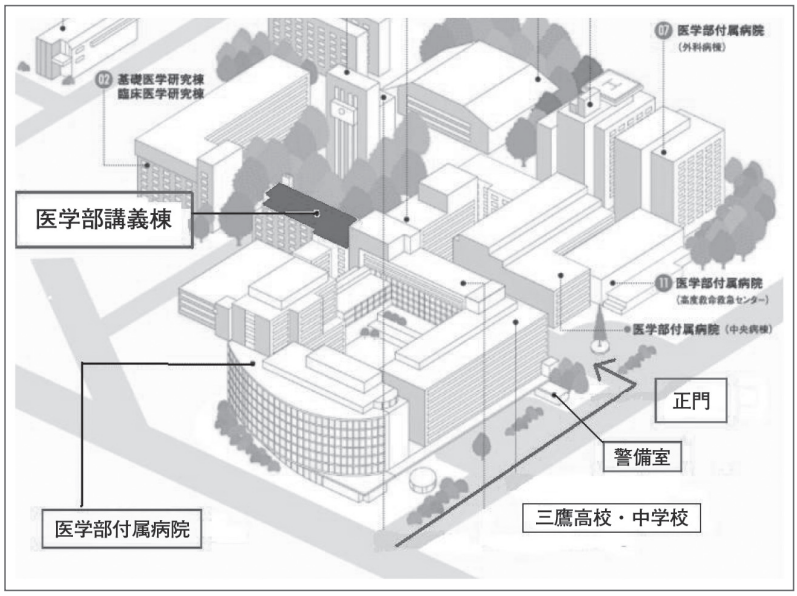
齋藤 英和

【専門】
生殖医学 特に不妊症学、生殖内分泌学

【経歴】
1979年　山形大学医学部医学科卒業
山形大学医学部 助手
1981年　米国・南カリフォルニア大学留学
米国第３番目の体外受精児出産に成功
1985年　医学博士学位取得（山形大学）
1987年　日本産科婦人科学会認定医
1991年　山形大学医学部付属病院 講師
1995年　山形大学医学部 助教授
2002年　国立研究開発法人国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター　副周産期・母性診療センター長

■ 会場地図

杏林大学三鷹キャンパス
医学部講義棟２階　第一講堂
〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2



■ 主　　催

杏林医学会　事務局
Tel：0422-47-5511（内線3314）
e-mail：med_soc@ks.kyorin-u.ac.jp
URL：http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/user/kyorinms/